

高校歴史総合プリント（過去問類似）

日本史A（旧課程の過去問） No.5

名前

得点

/10

問1 1915年に大阪朝日新聞社の主催で始まった全国中等学校優勝野球大会は、大正から昭和初期にかけて大衆娯楽として定着した。この大会の決勝戦を観戦するなどしてメディアと政治の結びつきを示した、憲政会（のち立憲民政党）の総裁として大正デモクラシー期に内閣を組織した首相は誰か。 （2014年 全国公立入試 類似）

1. 浜口雄幸 2. 加藤高明 3. 若槻礼次郎 4. 鈴木貫太郎

問2 明治政府が1873年に開始した新たな税制に対し、1876年に三重県や愛知県などで大規模な暴動へと発展し、翌年の税率引き下げ（3%から2.5%へ）の直接的な契機となった民衆運動は何か。 （2010年 全国公立入試 類似）

1. 地租改正反対一揆 2. 徴兵令反対一揆 3. 条約改正反対運動 4. 地租軽減要求運動

問3 明治時代、欧米の慣習を模倣して天皇の肖像を郵便切手に印刷することに対し、皇室の尊厳を冒瀆するものとして批判する主張が展開された。このような、急速な西洋化に反対し、日本の伝統や独自性を重視した思想的立場を何とというか。 （2023年 全国公立入試 類似）

1. 欧化主義 2. 超然主義 3. 国粹主義 4. 平民主義

問4 明治政府は近代産業の育成とインフラ整備を急ぎ、お雇い外国人の指導のもとで鉱山開発や鉄道敷設などの近代産業・技術の導入を強力に推進した。この一連の殖産興業政策において、1870年に設置され、日本初の鉄道開業を主導した中央官庁は何か。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 大蔵省 2. 工部省 3. 内務省 4. 外務省

問5 第一次世界大戦後の日本は、ワシントン体制のもとで協調外交を展開した。加藤高明内閣期の1925年には、北樺太の利権確保などを条件として、それまで国交のなかった社会主義国との間で国交を樹立する合意がなされた。この合意を定めた条約は何か。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 日ソ通商条約 2. 日ソ基本条約 3. 日ソ中立条約 4. 日ソ漁業条約

問6 1898年に施行された明治民法において規定され、戸主に家族の婚姻や養子縁組に対する同意権を与え、直系血族を中心とする家族の共同体を法的に公認した、近代日本の家族制度を何とというか。 （2023年 全国公立入試 類似）

1. 徴兵制 2. 華族制 3. 家制度 4. 地主制

問7 太平洋戦争末期の1945年7月、アメリカ・イギリス・中国の共同名義で発表され、日本に対して全日本軍の無条件降伏や軍国主義の排除、戦争犯罪人の処罰などを求めた共同宣言を何とというか。 （2007年 全国公立入試 類似）

1. ポツダム宣言 2. モスクワ宣言 3. ポツダム協定 4. テヘラン宣言

問8 明治政府は、近代国家にふさわしい社会制度を整えるため、従来の身分制度の再編を行った。旧公家や大名は華族、旧武士は士族とされたが、江戸時代の農民や町人などの大多数の国民は、新たにどのような身分に位置づけられたか。 （2012年 全国公立入試 類似）

1. 卒族 2. 士族 3. 華族 4. 平民

問9 地方の歴史資料の保存に関して、山口県では藩の古文書を受け入れることを契機に県立の文書館が設立された。この藩は幕末期に尊王攘夷派の急進拠点となったが、1864年に薩摩藩・会津藩などの兵と京都の御所周辺で衝突し、敗北を喫した。この衝突事件を何とというか。 （2009年 全国公立入試 類似）

1. 乙丑の獄 2. 禁門の変 3. 庚午の変 4. 安政の獄

問10 高度経済成長期、農村から都市部の工業部門などへ労働力が大量に流出した。その結果、農業以外の仕事に従事して収入を得る農家が急増し、農業のみで生計を立てる農家の数を大きく上回るようになった。このような農家を何とというか。 （2007年 全国公立入試 類似）

1. 農地改革 2. 兼業農家 3. 専業農家 4. 寄生地主

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 3 若槻礼次郎	憲政会総裁として1926年に第1次内閣を組織した若槻礼次郎は、全国中等学校優勝野球大会を観戦するなど、大衆メディアとの関わりを持った。彼の内閣期には、大衆社会の到来を背景とした政治とメディアの接近が見られた。
問2	答え 1 地租改正反対一揆	明治政府が1873年に着手した地租改正は、高額な税負担や入会地の官有地化などへの不満から各地で激しい抵抗を招いた。特に1876年末に伊勢暴動（三重県）や真壁暴動（茨城県）などの大規模な一揆が頻発したため、政府は民心の安定を図るべく、1877年に地租を3%から2.5%に引き下げた。これが地租改正反対一揆である。
問3	答え 3 国粹主義	明治政府が進めた極端な欧化政策に対し、1880年代後半から批判が高まった。天皇の肖像を郵便切手に用いる欧米の慣習を模倣することは、切手に消印を押すなどの行為が皇室の尊厳を冒瀆することにつながるとして批判された。この批判の背景には、日本の伝統や独自性を重視し、安易な西洋化を批判する思想的台頭があった。この立場は国粹保存主義とも呼ばれる。
問4	答え 2 工部省	明治政府は1870年に産業・技術の近代化を担う官庁としてこの省を設置した。お雇い外国人を多数雇用し、鉄道の敷設や鉱山の官営化、電信網の整備などを主導した。1885年の内閣制度創設にともない廃止され、その業務は農商務省や逓信省などに引き継がれた。
問5	答え 2 日ソ基本条約	1925年、加藤高明内閣（憲政会・政友会・革新倶楽部の護憲三派連立）のもとでソ連との間に締結された。これにより日本とソ連の国交が樹立され、日本は北樺太における石油・石炭の採掘権などの利権を確保した。同年に治安維持法が制定された背景には、この条約締結による共産主義思想の流入への警戒があった。
問6	答え 3 家制度	明治民法において導入された家制度は、戸主を長とする「家」を社会の基本単位とする制度である。この制度下では、家族の婚姻や養子縁組に戸主の同意が必要とされ、また子の親権は父親が単独で行うなど、男性・家長中心の強い権限が認められていた。戦後の民法改正により、この制度は廃止された。
問7	答え 1 ポツダム宣言	1945年7月、ベルリン郊外において、アメリカ・イギリス・中国の共同名義（後にソ連も署名）で日本に対して無条件降伏を勧告する共同宣言が発表された。日本政府は当初これを「黙殺」したが、広島・長崎への原子爆弾投下やソ連の対日参戦を経て、同年8月にこれを受諾した。カイロ宣言は1943年に発表されたものであり、シャウブ勧告や人権指令は戦後の占領期に出されたものである。
問8	答え 4 平民	明治政府は四民平等のスローガンのもと、従来の身分制度を解体・再編した。皇族以外の国民は、華族・士族・平民の3つに分類され、江戸時代の農民や町人はこの身分に位置づけられた。これにより、職業選択の自由や居住移転の自由、異なる身分間の結婚（通婚）などが認められるようになった。
問9	答え 2 禁門の変	山口県立山口県文書館は、旧毛利藩（長州藩）の古文書などの受け入れを契機に設立された。長州藩は幕末の1864年、前年の八月十八日の政変で失脚した勢力を挽回するため京都に攻め上り、薩摩・会津などの諸藩の兵と衝突した。この事件は禁門の変（蛤御門の変）と呼ばれる。
問10	答え 2 兼業農家	高度経済成長期には、都市部の工業化に伴い農村の労働力が他産業へ流出した。農業機械の普及も手伝い、平日は工場や建設現場などで働き、週末に農業を行うといった形態が増加した。これにより、農業以外の所得が主となる第二種兼業農家を中心に、その割合が専業農家を大きく上回ることとなった。